



ショートコメント

★★★

Data 2023-102

監督：ジャスティン・シミエン

出演：ロザリオ・ドーソン/
オーウェン・ウィルソン/
ジェイミー・リー・カーティス/
ティファニー・ハディッシュ/
ユラキース・スタンフィールド

ホーンテッドマンション

2023年/アメリカ映画

配給：ウォルト・ディズニー・ジャパン/122分

2023 (令和5) 年9月2日鑑賞

TOHO シネマズ西宮 OS

👁️👁️ みどころ

都市問題をライフワークにしている弁護士歴 49 年になる私には、住宅問題も大切だから、ある面では民法の瑕疵担保責任の勉強に通じる本作は必見！もっとも、前作 (03 年) (『シネマ 6』177 頁) では何ら住宅問題の学習に結びつかなかったが、それは本作でも同じだったからアレ……。

ニューオーリンズにある豪邸の購入額は How much? 少なくとも、それぐらいの契約条件は教えてくれてもいいと思うのだが、スクリーン上にさまざまな“ゴーストたち”を次々と登場させるだけでは、75 歳の私が楽しむのは到底ムリ。やっぱり、このシリーズは、アメリカのディズニーランドの「ホーンテッドマンション」に行けない人たちが、お子様連れで映画館に来て楽しむだけの映画かも……。

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

◆1974年に弁護士登録し、1984年の大阪駅前第2ビル再開発問題研究会に参加した以降、都市問題をライフワークにしてきた私は、必然的に住宅問題にも関心を持っている。そんな私にとっては、シングルマザーで女医のギャビー (ロザリオ・ドーソン) が破格の値段でニューオーリンズの豪邸を手に入れ、息子のトラヴィス (チェイス・ディロン) と共に引っ越してくるという本作の基本ストーリーを読むと、こりゃ必見!

『ホーンテッドマンション』の第1作 (03年) (『シネマ 6』177頁) は、不動産屋の夫婦とその可愛い2人の子供たちを主人公にして、お屋敷を巡る、昔の悲しい恋物語が展開されていたが、さて本作では?

◆都市問題をライフワークにしている私にとって、本作最大の注目点は、ニューオーリンズにある豪邸をギャビーはいくらで購入したのか?ということだが、本作は一切そういう問題には触れず、引っ越し屋よりも一足先にギャビーが息子と2人で豪邸の中に入っていきクエンクスから始まる。この豪邸に入るについては、①鍵の開け方は?②水道の出し

方は？③電気のつけ方は？④水道の出し方は？⑤トイレの使い方は？等々を確認しなければならぬはずだが、本作では、鍵の開け方、電気のつけ方がさっぱりわからないまま、広いお屋敷の中に入った 2 人がゴーストたちに驚かされるシークエンスが続くので、アレアレ・・・。

日本では、土地建物を購入するについては、売買契約に際して“重要事項説明”が不可欠。例えば殺人事件があった物件なら、それは重要事項として説明すべき事項とされているが、このホーンテッドマンションにたくさんの幽霊が住んでいることは当然重要事項だろう。しかし、本作冒頭の 2 人の姿を見ていると、ギャビーがこの豪邸を購入するに際してそれを聞かされていたとは到底考えられない。従って、私の感覚では、そこからギャビーが契約解除の請求をしたり、業者に損害賠償の請求をすることが期待されたが、本作の物語はそれとは全く違う方向に進んでいくことに・・・。

◆ギャビーが自力でゴーストたちを取り除くについて、最初に豪邸にやってくる協力者は①神父のケント（オーウェン・ウィルソン）。ケントは誰がどう見ても聖職者のように見えない男だが、彼に一体どんな超能力があるの？さらに、ケントと共にギャビーに協力するのは、②歴史学者のブルース（ダニー・デヴィート）、③霊媒師のハリエット（ティファニー・ハディッシュ）、④超常現象専門家のベン・マティアス（ラキース・スタンフィールド）という 4 人の男たちだ。

私の興味は、ギャビーが一癖も二癖もあるこれら 4 人の男たちと、どんな契約を結んで働いてもらうのかということだが、本作では残念ながらそれも全く描かれず、4 人の男たちのキャラが強調されるだけ。彼らは一見詐欺師のようだが、本当にそれぞれが吹聴するような超能力を持っているの？

◆導入部でのそんなストーリーが展開した後、いよいよホーンテッドマンションの中に入った 4 人の男たちの活躍が本作のメインストーリーになっていくが、そこら辺りから私はさすがにストーリーのバカバカしさが目につき、ウトウトと・・・。

小学生の子供なら日本語に吹き替えられたセリフとともに 999 人のゴーストたちのキャラ（恐さ？）を楽しむことができるのかもかもしれないが、さすがに 75 歳のじいさんとしては、これ以上はノーサンキュー。したがって、将来『ホーンテッドマンション 3』が公開されても、私はノーサンキュー・・・。

2023（令和 5）年 9 月 4 日記